

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/インデックス型	
信託期間	無期限(設定日:2021年7月30日)	
運用方針	中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A50インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	中国A株インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF(上場投資信託証券)を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド(ベビーファンド)	中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A50インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	ETF(上場投資信託証券)への投資を通じて、中国A株へ実質的に投資を行い、FTSE 中国A50インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
分配方針	年1回(毎年7月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益(マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。))を含みます。)および売買益(評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。)等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書(全体版)

## 第2期

(決算日:2023年7月12日)

# SBI・中国A株 インデックス・ファンド (愛称:雪だるま(中国A株))

追加型投信/海外/株式/インデックス型

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・中国A株インデックス・ファンド(愛称:雪だるま(中国A株))」は、2023年7月12日に第2期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbiam.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2021年7月30日	10,000	—	—	10,000	—	—	97
1期(2022年7月12日)	11,501	0	15.0	11,742	17.4	99.8	598
2期(2023年7月12日)	9,686	0	△15.8	9,973	△15.1	98.9	736

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託 証券組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2022年7月12日	11,501	—	11,742	—	99.8
7月末	10,922	△5.0	11,118	△5.3	98.2
8月末	10,616	△7.7	10,804	△8.0	98.9
9月末	10,405	△9.5	10,600	△9.7	98.8
10月末	9,144	△20.5	9,304	△20.8	100.6
11月末	9,633	△16.2	9,806	△16.5	99.5
12月末	9,724	△15.5	9,903	△15.7	97.2
2023年1月末	10,645	△7.4	10,931	△6.9	99.8
2月末	10,247	△10.9	10,518	△10.4	98.9
3月末	10,145	△11.8	10,363	△11.7	99.0
4月末	9,974	△13.3	10,206	△13.1	99.1
5月末	9,716	△15.5	9,972	△15.1	99.1
6月末	9,836	△14.5	10,085	△14.1	98.9
(期末)					
2023年7月12日	9,686	△15.8	9,973	△15.1	98.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。

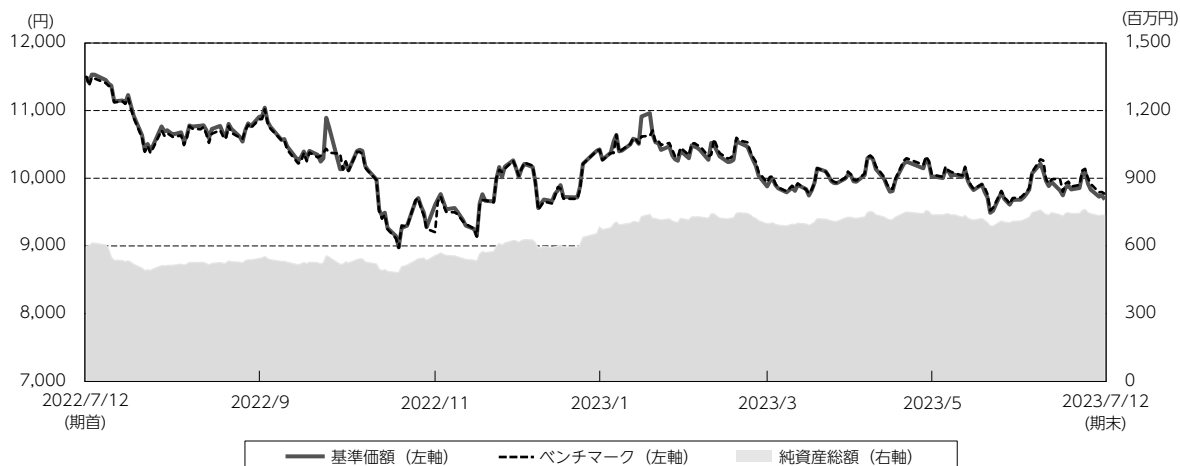
(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

ベンチマーク：FTSE 中国A50インデックス

FTSE 中国A50インデックスは、FTSE社が開発した指数で、中国株式市場における大手企業のパフォーマンスをカバーすることを目的としており、流動性のある中国A株の時価総額上位50銘柄で構成されています。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年7月13日から2023年7月12日まで）

### ○基準価額等の推移



期首：11,501円

期末：9,686円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△15.8%

（注1）ベンチマークは、FTSE 中国 A50 インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2022年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・2022年11月以降、中国政府がゼロコロナ政策を事実上放棄したことから、景気回復期待が高まったこと。また、中国企業の米国での上場廃止リスクが後退したことが好感されたこと
- ・景気の回復が思わしくないことから、政策への期待が見られたこと
- ・当期、中国、日本ともに金融政策の方向は緩和であったが、相対的に見て、中国の方が日本よりも金融緩和の程度が小さく、インフレ率も低いことなどから人民元が日本円に対して通期で上昇したこと
- ・中国政府による自国のハイテク企業強化の動き

#### 下落要因

- ・2022年10月まで中国政府がゼロコロナ政策を維持したことから、経済活動停滞への懸念、景気先行きへの不透明感などから、株価が下押しされたこと
- ・ゼロコロナ政策放棄後の経済活動の回復が予想よりも鈍かったこと
- ・米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限などに加え、気球問題などから米中関係の緊張が続く、これが売り材料ととらえられたこと
- ・米国をはじめとした主要国の金融政策正常化の動きと、それを受けた世界的な金利上昇

## ○投資環境

---

### <中国株式市場>

当期は、中国市場は、2022年10月ごろまでは、中国政府のゼロコロナ政策により、諸外国と比べて経済活動の回復が思わしくなかったことなどから軟調な相場展開となりました。さらに、米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限なども売り材料とみなされました。その後、11月ごろにかけて中国政府がゼロコロナ政策を事実上放棄すると、ゼロコロナ政策による経済活動の遅れに対する税制期待、景気回復への期待から市場は上昇傾向となりました。同時期、中国企業の米国での上場廃止リスクが後退（米上場企業会計監査委員会（PCAOB）が、中国企業の監査書類を十分精査できていると声明）したこともプラス材料となりました。しかしながら、ゼロコロナ政策放棄に伴う新型コロナウイルス感染再拡大への懸念なども残り、急反発とはなりません。恒例となった米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限などの米国の対中制裁に加え、気球問題などから米中関係の緊張が続き、これが売り材料ととらえられました。また、不動産企業の不良債権問題、個人の住宅ローン債務問題、不動産収入に依存した中国地方政府の財政問題などの不動産投資を巡る諸問題も目立った改善が見られませんでした。さらに、景気指標も、目立った改善が見られずまだら模様であったことから、株価の回復も緩慢なものとなりました。こうしたなか、通期では、小幅ながら下落しました。

### <外国為替市場>

人民元/円は、期首1人民元20円台で始まり、期末19円台で終えました。期中は概ね19円台から20円台での狭い範囲で推移しました。期首から2022年11月ごろまで概ね19円台半ばから20円台半ばで推移しました。2022年12月ごろから期末まで、概ね19円台での推移となりました。

対米ドルでは、2022年10月ごろまで米国の金融引き締め強化、米国債金利上昇を受けて人民元安ドル高となりました。その後2023年1月ごろまで、ゼロコロナ政策放棄による景気回復期待や米国の金融引き締めペース緩和への期待などから人民元高ドル安傾向となりました。2023年2月以降は中国景気の回復が緩やかなものとなったことなどから人民元安ドル高傾向となりました。

こうしたなか、人民元の対円レートは、2022年12月に日本銀行が金融緩和策の修正を決めたことから、レンジがやや円高方向に動きました。その後も、中国での景気回復が予想よりもペースが遅いこと、日本の景気が比較的堅調なこと、インフレも中国がどちらかと言えばデフレ気味であること、日本のインフレに上振れが見られることなどからやや円高傾向となって推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

### <当ファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国A株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <中国A株インデックスマザーファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・インクが運用を行う「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

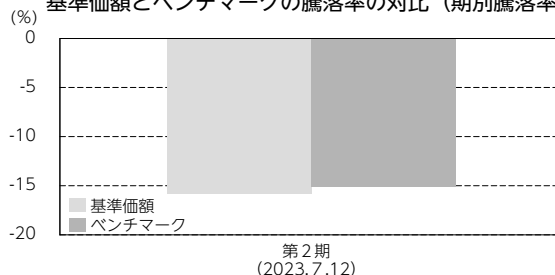
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.9%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は、△15.8%の下落となり、ベンチマークである「FTSE 中国 A50 インデックス（円換算ベース）」の騰落率である△15.1%をおおむね0.7%下回りました。

主な要因としては、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション等の要因が挙げられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはFTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2022年7月13日～ 2023年7月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	937

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

### <当ファンド>

引き続き、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国A株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

### <中国A株インデックスマザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス (円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年7月13日～2023年7月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	円 6 ( 2 ) ( 2 ) ( 2 )	% 0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	14 ( 12 )  ( 2 ) ( 0 )	0.143 (0.123)  (0.020) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	20	0.207	
期中の平均基準価額は、10,083円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

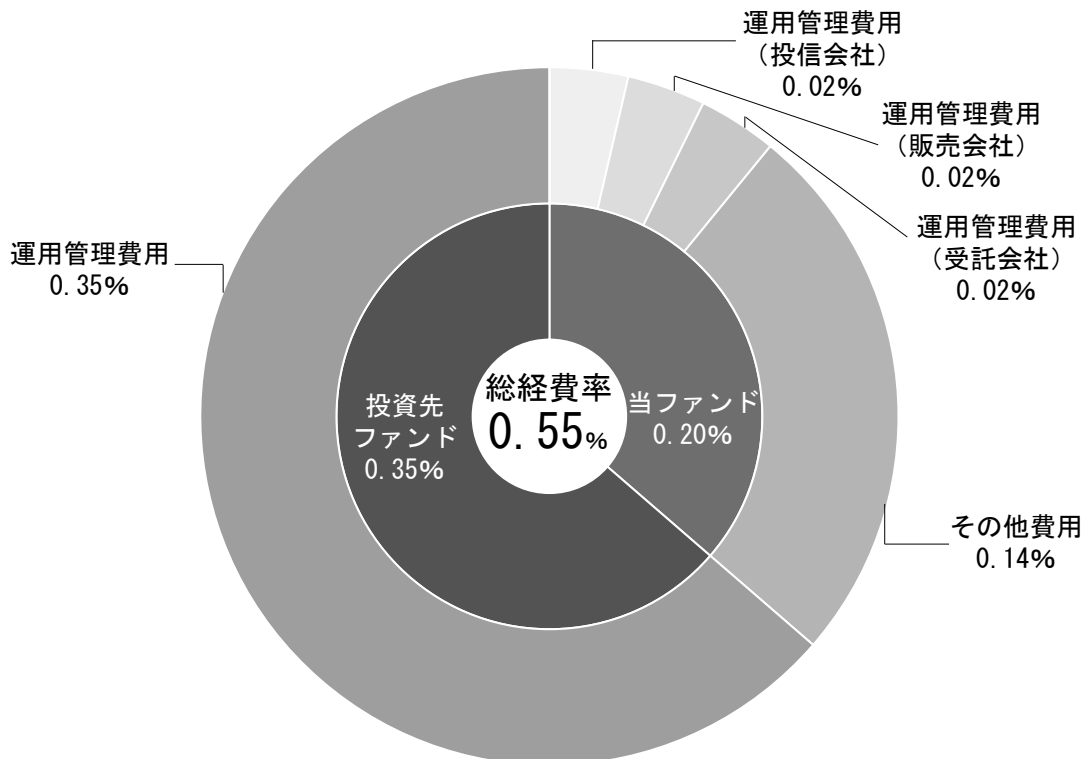
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.55%**です。



総経費率 (①+②)	0.55%
①当ファンドの費用の比率	0.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2022年7月13日～2023年7月12日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
中国A株インデックスマザーファンド	千口 448,478	千円 455,360	千口 237,832	千円 248,360

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年7月13日～2023年7月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年7月12日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
中国A株インデックスマザーファンド	千口 546,388	千口 757,034	千円 736,367

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2023年7月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
中国A株インデックスマザーファンド	千円 736,367	% 99.5
コール・ローン等、その他	4,000	0.5
投資信託財産総額	740,367	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 中国A株インデックスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(724,157千円)の投資信託財産総額(744,583千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1人民元(オフショア) = 19.4089円。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月12日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	740,367,285円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,806
中国A株インデックスマザーファンド(評価額)	736,367,479
未 収 入 金	3,980,000
(B)負 債	4,250,921
未 払 解 約 金	3,950,657
未 払 信 託 報 酬	228,634
そ の 他 未 払 費 用	71,630
(C)純 資 産 総 額(A - B)	736,116,364
元 本	759,941,743
次 期 繰 越 損 益 金	△ 23,825,379
(D)受 益 権 総 口 数	759,941,743口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	9,686円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >

(貸借対照表関係)

期首元本額	520,661,736円
期中追加設定元本額	635,083,063円
期中一部解約元本額	395,803,056円

(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は23,825,379円です。

## ○損益の状況 (2022年7月13日～2023年7月12日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	△70,820,749円
売 買 益	22,644,234
売 買 損	△93,464,983
(B)信 託 報 酬 等	△ 532,513
(C)当 期 損 益 金 (A + B)	△71,353,262
(D)前 期 繰 越 損 益 金	20,289,055
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	27,238,828
(配 当 等 相 当 額)	( 39,224,160)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△11,985,332)
(F)計 (C + D + E)	△23,825,379
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△23,825,379
追 加 信 託 差 損 益 金	27,238,828
(配 当 等 相 当 額)	( 40,304,750)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,065,922)
分 配 準 備 積 立 金	30,957,813
繰 越 損 益 金	△82,022,020

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,668,758円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,304,750円)および分配準備積立金(20,289,055円)より分配対象収益は71,262,563円(10,000口当たり937円)ですが、当期に分配した金額はありません。

# 第2期 運用報告書

(決算日：2023年7月12日)

## 中国A株インデックスマザーファンド

### 受益者のみなさまへ

中国A株インデックスマザーファンドの第2期（2022年7月13日から2023年7月12日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	中国A株市場の動きを捉えることをめざして、FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主要運用対象	ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託 証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	期中騰落率		期中騰落率		
(設定日) 2021年7月30日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 97
1期(2022年7月12日)	11,458	14.6	11,742	17.4	95.4	626
2期(2023年7月12日)	9,727	△15.1	9,973	△15.1	98.9	736

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託 証券 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首) 2022年7月12日	円 11,458	% —		% —	% 95.4
7月末	10,927	△4.6	11,118	△5.3	95.6
8月末	10,632	△7.2	10,804	△8.0	98.4
9月末	10,426	△9.0	10,600	△9.7	98.0
10月末	9,174	△19.9	9,304	△20.8	99.8
11月末	9,663	△15.7	9,806	△16.5	98.4
12月末	9,756	△14.9	9,903	△15.7	95.3
2023年1月末	10,675	△6.8	10,931	△6.9	99.4
2月末	10,285	△10.2	10,518	△10.4	97.7
3月末	10,186	△11.1	10,363	△11.7	98.7
4月末	10,016	△12.6	10,206	△13.1	98.4
5月末	9,756	△14.9	9,972	△15.1	99.1
6月末	9,877	△13.8	10,085	△14.1	98.8
(期末) 2023年7月12日	9,727	△15.1	9,973	△15.1	98.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

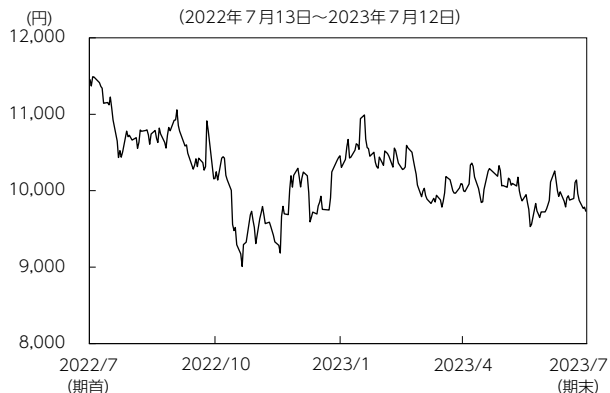
ベンチマーク：FTSE 中国A50インデックス

FTSE 中国A50インデックスは、FTSE社が開発した指数で、中国株式市場における大手企業のパフォーマンスをカバーすることを目的としており、流動性のある中国A株の時価総額上位50銘柄で構成されています。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2022年7月13日から2023年7月12日まで）

### ○基準価額等の推移

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は期首11,458円から始まったあと、期末には9,727円となりました。期を通じて騰落率は△15.1%となりました。

	設定日	期中高値	期中安値	期末
日付	2022/7/12	2022/7/14	2022/11/1	2023/7/12
基準価額 (円)	11,458	11,492	9,010	9,727

### ○投資環境

#### <中国株式市場>

当期は、中国市場は、2022年10月ごろまでは、中国政府のゼロコロナ政策により、諸外国と比べて経済活動の回復が思わしくなかったことなどから軟調な相場展開となりました。さらに、米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限なども売り材料とみなされました。その後、11月ごろにかけて中国政府がゼロコロナ政策を事実上放棄すると、ゼロコロナ政策による経済活動の遅れに対する税制期待、景気回復への期待から市場は上昇傾向となりました。同時期、中国企業の米国での上場廃止リスクが後退（米上場企業会計監査委員会（PCAOB）が、中国企業の監査書類を十分精査できていると声明）したこともプラス材料となりました。しかしながら、ゼロコロナ政策放棄に伴う新型コロナウイルス感染再拡大への懸念なども残り、急反発とはなりません。恒例となった米国の対中輸出規制強化、中国テクノロジー企業への投資制限などの米国の対中制裁に加え、気球問題などから米中関係の緊張が続き、これが売り材料ととらえられました。また、不動産企業の不良債権問題、個人の住宅ローン債務問題、不動産収入に依存した中国地方政府の財政問題などの不動産投資を巡る諸問題も目立った改善が見られませんでした。さらに、景気指標も、目立った改善が見られずまだら模様であったことから、株価の回復も緩慢なものとなりました。こうしたなか、通期では、小幅ながら下落しました。

#### <外国為替市場>

人民元/円は、期首1人民元20円台で始まり、期末19円台で終わりました。期中は概ね19円台から20円台での狭い範囲で推移しました。期首から2022年11月ごろまで概ね19円台半ばから20円台半ばで推移しました。2022年12月ごろから期末まで、概ね19円台での推移となりました。

対米ドルでは、2022年10月ごろまで米国の金融引き締め強化、米国債金利上昇を受けて人民元安ドル高となり

ました。その後2023年1月ごろまで、ゼロコロナ政策放棄による景気回復期待や米国の金融引き締めペース緩和への期待などから人民元高ドル安傾向となりました。2023年2月以降は中国景気の回復が緩やかなものとなったことなどから人民元安ドル高傾向となりました。

こうしたなか、人民元の対円レートは、2022年12月に日本銀行が金融緩和策の修正を決めたことから、レンジがやや円高方向に動きました。その後も、中国での景気回復が予想よりもペースが遅いこと、日本の景気が比較的堅調なこと、インフレも中国がどちらかと言えばデフレ気味であること、日本のインフレに上振れが見られることなどからやや円高傾向となって推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・インクが運用を行う「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.9%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

---

期中における基準価額及びベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」の騰落率はともに△15.1%となりました。

主な要因としては、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション等の要因が挙げられます。

## ○今後の運用方針

---

引き続き、「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2022年7月13日～2023年7月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用	12	0.122	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.122)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	12	0.122	
期中の平均基準価額は、10,114円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○ 売買及び取引の状況

(2022年7月13日～2023年7月12日)

### 投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	中国オフショア	口	千人民元 (オフショア)	口	千人民元 (オフショア)
	ISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY	1,341,064	16,897	353,776	4,692
	小 計	1,341,064	16,897	353,776	4,692

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年7月13日～2023年7月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年7月12日現在)

### 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(中国オフショア) ISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY	2,108,843	口 3,096,131	千円 37,525	千円 728,321	% 98.9	
合 計	口数・金額 2,108,843	口数 3,096,131	37,525	728,321	98.9	
	銘柄数<比率> 1	1	—	<98.9%>		

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年7月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 728,321	% 97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	16,262	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	744,583	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(724,157千円)の投資信託財産総額(744,583千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1人民元(オフショア)=19.4089円。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月12日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	748,775,465円
コール・ローン等	16,262,339
投資信託受益証券(評価額)	728,321,063
未 収 入 金	4,192,063
(B)負 債	12,398,118
未 払 金	8,418,074
未 払 解 約 金	3,980,000
未 払 利 息	44
(C)純 資 産 総 額(A - B)	736,377,347
元 本	757,034,522
次 期 繰 越 損 益 金	△ 20,657,175
(D)受 益 権 総 口 数	757,034,522口
1万口当たり基準価額(C / D)	9.727円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	546,388,535円
期中追加設定元本額	448,478,495円
期中一部解約元本額	237,832,508円
期末における元本の内訳	
SBI・中国A株インデックス・ファンド	757,034,522円

(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,657,175円です。

## ○損益の状況 (2022年7月13日～2023年7月12日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	11,435,203円
受 取 配 当 金	11,453,676
支 払 利 息	△ 18,473
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△107,326,735
売 買 益	173,019
売 買 損	△107,499,754
(C)そ の 他 費 用	△ 776,198
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 96,667,730
(E)前 期 繰 越 損 益 金	79,656,542
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	6,881,505
(G)解 約 差 損 益 金	△ 10,527,492
計 (D + E + F + G)	△ 20,657,175
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 20,657,175

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<ご参考>投資対象ファンドの概要

投資対象ファンド	投資対象	連動する指数	経費率	委託会社
iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF	中国株式	FTSE 中国A50インデックス	0.35%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
KWEICHOW MOUTAI LTD A	7.4%
KWEICHOW MOUTAI LTD A	7.0%
CONTEMPORARY AMPEREX TECHNOLOGY LT	4.7%
CHINA YANGTZE POWER LTD A	2.8%
BYD LTD A	2.4%
CHINA MERCHANTS BANK LTD A	2.4%
WULIANGYE YIBIN LTD A	2.4%
CHINA MERCHANTS BANK LTD A	2.2%
CONTEMPORARY AMPEREX TECHNOLOGY LT	2.2%
PING AN INSURANCE (GROUP) OF CHINA	2.0%

組入上位業種	比率
生活必需品	28.7%
金融	28.2%
資本財・サービス	11.0%
ヘルスケア	6.8%
一般消費財・サービス	6.6%
情報技術	6.2%
エネルギー	5.4%
公益事業	3.6%
素材	3.5%

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2023年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第2期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。